

インフォシス、データ・アナリティクス分野で Google Cloud パートナー・スペシャライゼーション 認定を取得

世界中の SI ベンダーの中からインフォシスに Google Cloud パートナー・スペシャライゼーションを認定、
Infosys Cobalt 強化に向け追い風に

バンガロール (インド) – 2021 年 1 月 18 日: 次世代デジタル・サービスおよびコンサルティングの世界的リーダーである [インフォシス](#) (NYSE: INFY) は、本日、データおよびアナリティクス分野で [Google Cloud](#) パートナー・スペシャライゼーションに認定されたことを発表しました。インフォシスは Google Cloud においてデータインジェスト、ストリーミング、クエリ実行、探索、分析、ストレージ、およびウェアハウジングを始めとするエンド・ツー・エンドの能力を発揮したことで、今回の評価を獲得しました。インフォシスの他にも、世界のトップクラスのシステムインテグレーター (SI) が、このスペシャライゼーションに認定されています。

インフォシスは Google Cloud 認定パートナーとして、技術的な熟練度、堅牢な手法、各種産業の強力な専門知識を発揮し、データ・アナリティクス・ソリューションとサービスの専門分野での実績を示してきました。これらのデータおよびアナリティクス製品サービスは [Infosys Cobalt](#) のラインナップとして、AI を活用した Google Cloud へのワークロード移行支援と併せ、データ・ランドスケープのモダナイゼーションと費用の最適化を図り、AI およびクラウド・ネイティブなデジタル変革を目指す企業に道を開いています。

「事実上あらゆるセグメントと産業において、ビジネスはデータからより多くのインサイトと価値を引き出そうとしています」と、Google Cloud のグローバル・パートナー・プログラムおよび戦略担当責任者である Nina Harding 氏は述べています。「今回のスペシャライゼーション認定に先立ち、インフォシスは最高レベルの専門知識を発揮して、Google Cloud のデータおよびアナリティクス製品によるデータ・ドリブン戦略の実装に向け、顧客を支援してきました」と、**インフォシスのエグゼクテ**

イブ・バイスプレジデント兼グローバルサービス責任者である Satish HC は述べ、次のように続けます。「Google Cloud パートナー・スペシャライゼーションの認定は、インフォシスのデータ・アナリティクス能力の推進において重要なマイルストーンになります。求められる基準に達したことで、Google Cloud において Infosys Cobalt が提案する価値はさらに強固なものになります。インフォシスは認定パートナーとして、複雑な Google Cloud 導入あたり、Google Cloud ネイティブなアクセラレーターとともに確実なデリバリーを実行し、企業に市場化への時間的優位性を提供します。」

インフォシスの Google Cloud 向けデータおよびアナリティクス製品サービスの詳細は、<https://www.infosys.com/services/data-analytics/offerings/data-analytics-specialization-space.html> でご覧いただけます。

インフォシスについて

インフォシスは次世代デジタル・サービスとコンサルティングのグローバル・リーダーとして、世界 46 か国でお客様のデジタル変革を実現しています。約 40 年にわたるグローバル企業のシステム・業務管理の実績に基づき、専門家としてお客様のデジタル・ジャーニーを推進します。変革の優先順位の判断において、当社では企業が AI を導入したコアを利用できるようにしています。また、ビジネスにアジャイル手法とデジタル化を大規模に導入することで、かつてない高いレベルのパフォーマンスと顧客満足度を提供いたします。当社の常に学ぶ姿勢は、デジタル・スキル、専門知識、および当社のイノベーション・エコシステムから創出されるアイデアの確立と移転を通じて、お客様の継続的改善を実現しています。

インフォシス (NYSE: INFY) が次のステージへと進む企業を支援する方法については、www.infosys.com をご覧ください。

セーフハーバー条項

本リリースに掲載されている報告書の一部は、当社の将来的な成長を予測するものであり、多くのリスクや不確定要素が介在しているため、実績と大きく異なる場合があります。このようなリスクと不確定要素には、収益の変動、当社の成長管理能力、費用効率に影響する可能性のある IT サービス分野における競争の激化、インドにおける人件費の高騰、高い技能をもつ専門的な人材を確保する当社の能力、固定価格・固定時間による契約における時間や経費の超過、顧客の集中化、出入国制限、業界セグメントの集中化、国際業務を管理する当社の能力、当社の主力分野であるテクノロジーの需要低下、通信ネットワークの崩壊あるいはシステムの故障、企業買収を成功させる当社の能力、当社サービス契約に対する損害賠償責任、戦略投資した企業の業績、政府援助の打ち切り、政治不安および地域紛争、インド国外での増資・企業買収に対する法的制限、当社知的所有権の不正使用、この業界に影響を与える経済情勢などが考えられます。当社の将来的な業績に影響すると思われるその他リスクについては、2012 年会計年度（2013 年 3 月 31 日付）年次報告書（Form 20-F）と 2013 年第 1 四半期（2013 年 4 月－7 月期）（Form 6-K）を含め、米国証券取引委員会へ提出された当社報告書に詳細に記載されています。これらの報告書は、www.sec.gov でご覧いただけます。インフォシスは、米国証券取引委員会や当社株主への報告書など、書面および口頭により将来の



展望を適宜発表する場合がありますが、当社により随時発表された将来の展望について更新する義務を負わないものとします。

お問い合わせ先

インフォシスリミテッド 日本支店

マーケティング本部長 安藤 jo_ando@infosys.com